

# 令和3年度 第2回社会教育委員会議 会議録

日 時 令和3年10月26日(火)

午後2時 開会

会 場 蕨市立中央公民館 1階 集会室

出席委員／ 徳丸、佐藤(一)、佐藤(由)、前川、佐藤(則)、松崎、上野、須賀、岡村、太田、  
新井、杉山 各委員

欠席委員／ 荒川、山野、永井 各委員

議事参与者／ 松本教育長、渡部教育部長、鈴木館長(中央公民館)、荒川館長(西公民館)、  
事務局／ 加納教育部次長・生涯学習スポーツ課長、岩下生涯学習スポーツ課青少年係長、  
池澤生涯学習スポーツ課スポーツ推進係長、  
竹田生涯学習スポーツ課生涯学習振興係長、深津生涯学習スポーツ課主事

## 1 開 会 午後2時

## 2 あいさつ

松本 教育長

徳丸 議長

## 3 自己紹介

## 4 前回会議録の承認

承認された。

## 5 議 事

### ・報 告

#### (1) 生涯学習関連行事等について

【資料1】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委 員： 質疑なし。

#### (2) わらび学校土曜塾推進事業について

【資料2】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委 員： 土曜塾の運営委員をしているので事務局の説明に補足をする。例年、各市  
内の7つ小学校を会場に開催しているが、コロナウイルス感染症が蔓延して  
いる状況では、ボランティアのなかには年配の方もいるため実施できないで  
いた。しかし、最近落ち着いてきたので再開してはどうかということで、

公民館を会場に行うこととした。一方で、この事業は勉強中心ではあるが、その合間に学年を超えて一緒に交流することが大切であるため、遊べる場がある学校で実施することに意味があったと考える。公民館ではそれができないので、会場を小学校に戻したいというのが開催している者の本心である。

### **(3) 第75回蕨市成年式について**

**【資料3】**

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 質疑なし。

### **(4) 第38回けやき文化賞について**

**【資料4】**

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 今回初めてダブル受賞だったが、今後このように2人での受賞というのがスタンダードになるのか。

事務局： 推薦書そのものが、2人一組で提出された。推薦者が2人での受賞を希望されていたということで、選考委員会が2人を選定したものである。今後も1人に限らず2人に差し上げたいということだったら考慮していきたい。

### **(5) 令和3年度後期 文化活動事業助成について**

**【資料5】**

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 質疑なし。

### **(6) 第7回（令和3年度）蕨市民音楽祭について**

**【資料6】**

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 自宅の近くに楽器演奏ができるマンションが作られたが、中央だけでなく、他の地域にも音楽ができるような仕組みができれば良いと思う。

委員： オンライン配信をされたのは素敵だと思う。いつコロナが終息されるかわからないが、公民館のネット環境はよくないと聞いている。今回の配信で苦労した点は何か。

事務局： 撮影をして編集をし、ユーチューブにアップロードしたが、慣れないので編集方法がわからず、ソフトにも限界があるなかで皆様に観ていただけるものを作成するのに苦労した。また、撮影する際は音を綺麗に撮るように注意深く撮影した。

委員： 一番の問題は予算にあると思う。素人が撮影も編集もしているので、クオリティが低くなるのは当然である。撮影も動画編集も素人が片手間にできることではない。演者としても、完成した動画を見て実際の演奏と違っていても、我慢している部分がある。

委員： マンションの管理組合のコンサルタントをしている。騒音の問題であるとかいろいろなハードルを越えなければいけないが、マンションの敷地で演奏会ができるのは良いアイデアだと思う。

委員： コロナ禍が済んだら、是非、生の演奏を聴きたい。オンラインも良いが、生の演奏は心に響く。

委員： オンラインの限界というのはその通りだが、オンラインによって今まで届かなかった方に届くようになったのは良いことである。子供たちはコロナに苦しんでいるので、オンラインは新たな選択肢としてコロナが終わっても残しておいた方が良いのではないか。

#### **(7) 運動・スポーツ習慣化促進事業について**

**【資料7】**

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 質疑なし。

#### **(8) 蕨市立信濃わらび山荘の在り方市内検討委員会の設置について**

**【資料8】**

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 毎年どれぐらい修繕費がかかっているのか教えて欲しい。

事務局： 修繕をやりたいが予算の関係でできないのが現状である。

委員： わらび山荘は自分の子供の思い出深い場所であり、このコロナがなければリンデン市との交流でも利用したかったので残念に思う。リンデンの人たちと何回も山荘に泊まっているが、桜も見られるし、とても良い場所であると思う。廃止についても検討するというのであれば、青少年の健全育成にも役立っているの、是非残して欲しい。

#### **(9) 令和4年度版蕨市生涯学習カレンダー 作品募集について**

**【資料9】**

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： このカレンダーは何部くらい作成していてどれぐらいの方が活用しているのか知りたい。

事務局： 発行部数は2万1千部である。市内の小中学校を中心に配布しているほか、保育園等に配布している。

委員： 林間学校等学校の行事は必要ないのではないか。それよりもっと余白を増やしてメモとして書き込めるようにしてほうが良い。

委員： 自分も毎年愛用しているが、情報を載せることに意味があるのではないか。できるだけ多くの情報を入れて欲しい。メモなら個人のカレンダーを使用すればよい。

委員： 自分の場合は蕨に住んで20年になるが今も活用している。希望としては持ち運びできるもう少し小さい物（縮小版）を作ってほしい。

事務局： 縮小版に関しては、情報量が多く文字が小さくなって見づらくなるので難しい。

委員： 若者があまり地域に関心がないようなので、どうすればもっと関わってもらえるのか。若者に活用してもらうには、どうすれば良いかを考えないといけないと思う。オンライン化もお願いしたい。

事務局： 市ホームページに載っているのもそちらも活用してほしい。

## ・協 議

### (1) 社会教育関係団体の認定について

2件の認定申請があり、各公民館長及び事務局から説明があった。

～協議の結果、全て承認された

委員： 男女平等推進市民会議の運営委員について、圧倒的に男性が少ないようだ。半々くらいの方が良いと思うが、どういう基準で選んでいるのか。

委員： 私は会員のため、審議には参加しないが、補足説明すると、この団体は、最初は市主催の大きなイベントを受けての発足であったが、初めから女性が多く、委員に男性が少ないのは迂闊だった。今ではだいぶ男性も増えたが、政治の世界でも女性の数は少なく、男女平等とは言えないので、この会には是非男性にもたくさん参加して欲しい。

委員： 女性だから男性だからという考えではなく、人間として同じだと思っている。

委員： 自分も今、発言されたような考えが増えればよいと思っている。

委員： 成年式の説明の時に男女を集計していないとおっしゃっていたが、そのような考えなのか。

事務局： その通りで、男性だから祝う、女性だから祝うということではなく、その世代全体を祝うという意味で男女は分けていない。

委員： 成年式のことは良い考えだと思う。男性の家事は女性に比べて20分の1で、共働きでも同じである。自分の身内が校長をしているが、小学校も男女別の名簿を使用し、報告書上げる時も男性何名女性何名と報告しなければならず、大変だと言っていた。今の時代には合わないと思う。

## 6 その他

委員： 高齢者について、コロナ禍で外に出る機会がなかったりして、動けなくなっている人もたくさんいる。また、公民館の利用について、予約したことを忘れてしまうという声を聞く。予約時に日付を書いた半券等があれば予定がわからなくな

ることも少なくなるので、そういうサービスをしてもらえないか。

事務局： イメージとしては病院の予約票みたいなものか。

委員： 文化ホールくるるでは領収書の半券がもらえるらしいが、そのようなものがあればよいのではないか。

事務局： 料金が発生するものについては予約日を記載した領収書を発行しているが、料金が発生しない利用については何も渡していないため、何かしらの方法を検討したい。

## 7 閉 会

佐藤 副議長

午後3時20分 閉会